



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成三〇年度
秋田県消防協会評議員会開催される

平成二九年度会計決算などを承認

一般財団法人秋田県消防協会の平成三〇年度定時評議員会が五月二九日(火)、秋田市の「イヤタカ」で開催されました。

評議員会には、秋田県副知事堀井啓一様など三名が来賓として出席されたほか、評議員一八名、理事・監事一四名が出席しました。

最初に中田会長があいさつを述べ、引き続き堀井副知事から祝辞をいただきました。

議事に入り、平成二九年度事業の概要報告や会計決算、また辞任に伴う評議員一一名の選任

任期満了に伴う理事一四名の選任などが審議されました。なお、理事の任期は平成三二年度定時評議員会の終結の時までとなります。



菊池評議員長

会長あいさつ



秋田県消防協会会長
中田 潤

ご来賓並びに評議員の皆様には、当協会の運営に対し、それぞれの地域において、格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我々消防団を取り巻く環境が益々厳しくなる中、取り分け県内の消防団員数は、ピーク時の半数を下回り、一六、六〇〇人余りとなりました。

この五年間で、約九〇〇人減っております。

一方、新たに五城目町消防団に女性が入団するなど、女性消防団員は年々増加しておりますが、いずれにいたしましても、団員の確保は、大変難しい課題であります。

県、市町村、それに我々協会も、それぞれの立場で役割をしっかりと果たしながら、団員確保という大きな課題に立ち向かっていくことが必要であると考えますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

平成三十年全国統一防火標語

忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

来賓祝辞



秋田県副知事
堀井 啓一

皆様には日ごろから県民の生命・財産を守るためにご尽力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

昨年、県内において火災で亡くなられた方は二四名ということで、特に八月横手市でのアパート火災では五名の方が犠牲になる大変悲しい火災もありました。引き続き、皆様方には火災の予防、迅速な消火活動にご尽力をお願いします。

また今年には、日本海中部地震から三五年の節目にあたりますが、その後の阪神淡路、東日本大震災等国内各地で大規模な災害が発生しております。改めて、地震に対する備えや避難体制などにつきましても皆様からご支援いただきながら、県としても一段と強化を図ってまいります。

この一年も皆様には大変難儀をかけることとなりますが、何卒ご尽力を賜りますようお願い致します。

■承認された議案

- (1)平成二九年度事業の概要報告
- (2)平成二九年度会計決算
- (3)監査報告
- (4)役員等の選任

*辞任に伴い選任された評議員

児玉 忠幸 (鹿角市副団長)

青山竹千代 (三種町団長)

伊藤 孝年 (藤里町団長)

吉田 陽一 (男鹿市団長)

藤井 好春 (五城目町団長)

保泉 隆 (秋田市副団長)

高橋 清功 (秋田市副団長)

藤島 絹雄 (仙北市団長)

柴田 和久 (横手市十文字団長)

柿崎 眞悦 (羽後町団長)

佐藤 孝吉 (湯沢市副団長)

*任期満了に伴い選任された理事

児玉 誠喜 (鹿角市団長)

齋藤 勉 (大館市団長)

中田 潤 (能代市団長)

谷口 良一 (大潟村団長)

大島 昌良 (秋田市団長)

周防 彦宗 (由利本荘市団長)

高橋 正尚 (美郷町団長)

平良木 保 (横手市増田団長)

軍司 信幸 (湯沢市団長)

土田 元 (秋田県総合防災課長)

佐藤 好幸 (秋田市消防長)

鈴木 良則 (大曲仙北広域消防長)

伊藤 智 (能代山本広域消防長)

高橋 尚文 (消防協会事務局長)

■協議事項等

- (1)平成三〇年度事業計画及び収支予算
- (2)平成三一年度秋田県消防大会の開催支部(第七二回大会は、由利本荘にかほ支部で開催します。)
- (3)第五回秋田県消防操法大会

①開催日、場所

平成三〇年九月一日(土)

秋田県消防学校放水訓練場

②大会内容

◆小型ポンプ操法の部

◆ポンプ車操法の部

*第二六回全国消防操法大会の県代表予選を兼ねる。

平成三〇年一〇月一九日(金)

開催地：富山市

◆軽可搬ポンプ操法の部

*第二四回全国女性消防操法大会の県代表予選を兼ねる。

平成三一年度開催(横浜市)

③出場順の抽選

平成三〇年八月八日(水)午後

会場：秋田市

『臨時理事会を開催』

定時評議員会終了後、臨時理事会を開催し、会長、副会長の選定などを協議しました。その結果、中田会長、児玉・高橋両副会長は再任、海野副会長の後任として、周防彦宗理事(由利本荘市団長)が選任されました。また、辞任された海野氏は協会の顧問に選任されました。

第十二回東北水防技術競技大会

〜横手市十文字消防団が参加〜

水防技術の向上と意識向上を図るとともに、新たな人材を確保することを目的とした「第十二回東北水防技術競技大会」が五月二十七日(日)、山形県大石町の最上川総合水防演習会場において行われました。



東北の県選抜の六団体各二〇名が参加本県からは横手市十文字消防団が参加し、「月の輪工法」と「シート張り工法」を行いました。審査基準は、出来映えと競技中の



規律となっています。

なお、本大会は、平成三〇年度最上川総合水防演習の開催に併せて行われたものであります。



(情報提供)横手市十文字地域課

一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (平成30年5月29日現在)

〔理事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	中 田 潤	能代市消防団 団長
副 会 長	児 玉 誠 喜	鹿角市消防団 団長
"	高 橋 正 尚	美郷町消防団 団長
"	周 防 彦 宗	由利本荘市消防団 団長
理 事	土 田 元	秋田県総務部総合防災課 課長
"	齋 藤 勉	大館市消防団 団長
"	平良木 保	横手市増田消防団 団長
"	軍 司 信 幸	湯沢市消防団 団長
"	谷 口 良 一	大瀧村消防団 団長
"	大 島 昌 良	秋田市消防団 団長
"	佐 藤 好 幸	秋田市消防本部 消防長
"	鈴 木 良 則	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	伊 藤 智	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長
業務執行理事	高 橋 尚 文	秋田県消防協会 事務局長

〔評議員〕

役 職	氏 名	関係する消防機関
評 議 員	成 田 俊 昭	小坂町消防団
"	児 玉 忠 幸	鹿角市消防団
"	田 中 政 幸	鹿角広域行政組合消防署
"	藤 田 久 悦	北秋田市消防団
"	青 山 竹 千 代	三種町消防団
"	本 多 健	八峰町消防団
"	伊 藤 孝 年	藤里町消防団
"	吉 田 陽 一	男鹿市消防団
"	伊 藤 良 勝	潟上市消防団
"	渡 部 壽 一	八郎潟町消防団
"	藤 井 好 春	五城目町消防団
"	浅 井 学	男鹿地区消防一部事務組合消防本部
"	保 泉 隆	秋田市消防団
"	高 橋 清 功	秋田市消防団
"	佐々木 伸 一	にかほ市消防団
"	金 子 英 紀	にかほ市消防団
"	佐 藤 一	大仙市消防団
"	藤 島 絹 雄	仙北市消防団
"	菅 原 一 太 郎	横手市平鹿消防団
"	塩 田 勉	横手市雄物川消防団
"	菊 池 二 郎	横手市大森消防団
"	柴 田 和 久	横手市十文字消防団
"	藤 原 博	横手市山内消防団
"	高 橋 良 則	横手市大雄消防団
"	大 石 義 孝	横手市消防本部
"	柿 崎 真 悦	羽後町消防団
"	鈴 木 修	東成瀬村消防団
"	佐 藤 孝 吉	湯沢市消防団

〔監 事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	北 林 義 高	上小阿仁村消防団 団長
"	遠 間 富 和	井川町消防団 団長
"	富 田 昭	横手市横手消防団 団長

平成29年度決算〔正味財産増減計算書〕

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常収益計	31,735,916	30,233,895	1,502,021
主な内訳			
基本財産運用益	255	637	△ 382
受取会費(掛金)	5,533,800	5,611,500	△ 77,700
事業収益	291,600	291,600	0
受取補助金等	13,084,276	12,949,315	134,961
受取負担金	5,085,045	5,094,060	△ 9,015
受取寄付金(会費)	5,672,700	5,745,000	△ 72,300
その他経常収益	2,068,240	541,783	1,526,457
経常費用計	32,576,822	31,267,549	1,309,273
主な内訳			
給与等	11,933,152	11,805,813	127,339
旅費交通費	3,918,043	3,714,206	203,837
消耗什器備品費	4,360,139	4,000,070	360,069
印刷製本費	2,311,731	2,329,494	△ 17,763
支払助成金	1,560,741	1,544,680	16,061
委託費	1,537,978	1,709,702	△ 171,724
互助会見舞金	1,960,000	1,760,000	200,000
その他経常費用	4,995,038	4,403,584	591,454
当期経常増減額	△ 840,906	△ 1,033,654	192,748
当期一般正味財産増減額	△ 840,906	△ 1,033,654	192,748
一般正味財産期首残高	110,090,460	111,124,114	△ 1,033,654
一般正味財産期末残高	109,249,554	110,090,460	△ 840,906
正味財産期末残高	109,249,554	110,090,460	△ 840,906
主な内訳			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0

第七二期初任教育 一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校

第七二期初任教育の入校生は、四月一三日の入校式からもう二ヶ月が過ぎました。

入校当初、全く未知の分野である消防の教育訓練への不安、寮での共同生活への戸惑いなどが感じられたが、今ではみんなが協力して日々の学校生活を送っています。

教育訓練も五月に入ると、体力錬成、礼式訓練から消防基礎技術の習得へと移行し、現在では、空気呼吸機器取扱訓練、身体結索訓練などの実技訓練が本格化してきています。

こうした中、消防学校から「一ヶ月を振り返って」と題した作文が寄せられましたので紹介します。



木内 絵美
(秋田市消防本部)

消防学校に入校して、あつという間の一ヶ月に感じました。わくわくした気持ちと緊張の気持ちが入校しましたが、寮生活にも慣れ、座学や訓練など、一日の流れもつかめていくと思います。

この一ヶ月では、予習・復習の大切さや、放課後の時間の使い方の大切さを感じました。座学や訓練においても、予習がなければその時間に身に付く量が大きく違うと思いました。また、復習することで次回に確実に繋げられると思いました。放課後の時間も、走ったり、体のケアをしたり、とても大切な時間だと思えます。何も考えずにいても時間は過ぎてしまうので、しっかり自分で考える力を身に付けて、有意義な時間を作り続けられるようにしていきたいです。

この一ヶ月のように、次の一ヶ月もあつという間だと思えます。五月からは効果測定も始まるので、また内容の濃い時間を過ごせるように努力していきたいです。五月は、学んだことをその日のうちに理解し、身に付けることを目標に頑張りたいと思います。



伊藤 康希
(北秋田市消防本部)

秋田県消防学校に入校して、この一ヶ月は常にバタバタした生活でした。私は入校するまでの間、正直学校でしっかり生活していけるか、うまくやっていけるかとても不安でした。しかし、第七二期五四名は優秀な人ばかりで、半年間このメンバーと切磋琢磨し合い、本気で頑張っているという決意しました。

入寮して一週目はとにかく毎日緊張し、ご飯も食べられないくらい毎日でした。二週目はとうとう授業が始まり、座学と訓練の日々が始まりました。訓練は毎日がキツく、ついていくことに必死でした。三週目では、少しずつ学校での生活に慣れてきて、この一ヶ月を振り返ると、学校での生活はとても充実したものでした。

しかし、ここで気を付けないといけないことは、慣れてきた生活で緩んだ生活をしてはいけないということです。ここでの生活に少しずつ慣れてきたため、慣れたのなら今までよりも上を目指して生活していくことが大事だと思います。そのため、来月からは今よりも日々の生活を考え、より上を目指していきます。



佐藤 迅
(由利本荘市消防本部)

「初心を忘れない」ということはこの社会で生活していく上でとても重要な心構えであると私は考える。もちろん消防組織の中での生活も例外ではない。入校して早くも一ヶ月が経過した。一人ひとりが消防学校での生活にも慣れてきたと思う。そして、生活に慣れてきた今だからこそ、もう一度初心に戻り、日々の生活を改めて考えることも必要だと感じた。

私にとって初心とは、消防吏員として採用される前まで遡る。地元が好きで地元の方々の役に立てるような仕事したいと考え、この職を選択した。消防吏員は確かな知識・技術・体力が必要である。それらを全て習得するために、なぜ消防吏員になったのか、消防吏員になつて何が良かったのかをもう一度再確認し、初心を忘れず、残りの消防学校生活に励みたい。

消防学校初任教育課程は、非常に短い期間だが、同時に非常に重要な期間である。限られた時間を有効に過ごし、自身の目指す消防吏員になれるよう、常に初心を忘れず行動していきたい。



三浦 佑斗
(にかほ市消防本部)

私が消防学校に入校して、一ヶ月が経とうとしています。学校生活に慣れてきましたが、あまり慣れすぎると、どこかで油断してしまうと思います。生活や服装に緩みが出てきて、入校初日の時とは違い、緊張が無くなってきているので、これからはメリハリを付けて自分に緊張を持たせ過ぎないように思います。

これからは、効果測定などが入ってくるので、時間を見つけ勉強に励み、訓練の予習と復習を行い、経験者として他の人の見本となっていきたいです。体力錬成は前よりも辛くなってきましたが、これも人を助けるために必要なことなので、自分に甘くならず、仲間と一緒に乗り越えていきたいと思っています。

気温も上がり、集中力が削がれてきました。これからますます暑くなり、その上、防火衣を着ての訓練や制服を着ての訓練礼式も増えていくので、ケガ等に注意して頑張っていきたいです。



武田 寛晃
(湖東地区行政一部事務組合消防本部)

入校してから一ヶ月が経過し、今振り返ると長いようで、あつという間だったと感じる。新しい環境の中で、同期と共同生活していけるかな安も多かったが、徐々に環境にも慣れ、日々の訓練や生活を通して同期との絆や仲間意識が生まれてきた。放課後、同期の仲間と制服にアイロンをかけたがり、体力錬成などで汗を流したりする時間が絆を深める一つのかげがえのない時間となっている。

一方で、私自身に不足している課題も見つかった。そのうちの一つが体力面である。ほかの同期と比べ、筋力や持久力が劣っていることで、放課後の時間はもちろんのこと、週末の時間に体力錬成を行い、周囲との差を縮めたい。

消防学校での時間が経過するにつれ、慣れなどによって入校当初の緊張感が私自身も含め全体的に失われつつあると感じている。入校時に掲げた「消防吏員としてのみでなく、社会人としても一回りも二回りも大きく成長する」という目標を達成するためにも、緊張感と意気込みをもって一日一日を大切に、大きく成長したい。



佐藤 秀磨
(男鹿地区消防一部事務組合消防本部)

四月は、初めての経験がたくさんありました。訓練礼式、ポンプ操法、三連梯子、消防法や消防用設備などの座学授業、消防学校での生活に慣れていくのに大変でした。入校したその日から消防学校の厳しい感じを見せつけられ、心身ともに引き締まりました。まず、身だしなみに関してとても気をつけました。制服にシワが少しでもあるだけで、腕立てを十回させられてしまいます。そうならないためにも、みんなで指摘し合いつながりながら頑張りました。私は身だしなみについて無頓着だったので、この時の衝撃は大きかったです。

次に寮内での共同生活についてです。私の部屋は三階にあつて四人部屋です。運の良いことに、部屋のメンバーには恵まれたと思います。最初はあまり会話がありませんでしたが、今ではコミュニケーションを取り合っている仲間と仲良く生活できています。また、資機材を使った訓練も興味深く新鮮でした。ホースや梯子の持ち方、動作にあわせての呼称など、一生懸命やるので精一杯でした。来月も一日一日を大切に頑張っていきたいです。



榊 拓朗
(大館市消防本部)

消防学校に入校して約一ヶ月が経った。仲間も増え、生活にも慣れることができた。しかし、消防学校の生活に慣れて余裕ができてしまったことにより、気の緩みができてしまっている気がする。教官方に指摘されることが日に日に多くなってきてしまっている。

二日に一回行われている朝の通常点検でも、服装の乱れで指摘されることがある。朝、鏡で自分の服装を正してきているのだが、自分では気づかなかつたため、見落としている部分はまだあるということだ。まだまだ自分に甘い気がする。給料を貰って消防学校という学舎で学ばせてもらっているということを、もっと深く自覚してやっていかなければならない。

また、自分は他の人よりも覚えが悪いので、午後の訓練終了から消灯までの時間をどう過ごすか考えて行い、他の人に遅れをとらないようにしたい。
なぜ、自分は消防士になったのか。消防学校で何をするために来たのかをしっかりと考えて、学校生活を送っていきたい。



小松田 翔太
(横手市消防本部)

私にとつてこの一ヶ月はとても大きく過密なものであった。消防の基礎を学ぶために消防学校に入校し、日々の訓練に努めた。

授業、訓練共に初めて経験することが多く、とても不安だった。寮での集団生活や先輩との関わり方においても同様で、緊張の連続だった。しかし、先輩方は優しい方ばかりで、私はすぐに「仲間」と強く意識するようになった。自分の意見を主張することも大事だが、集団生活である寮においては仲間の意見の尊重も大事であると、先輩方と共に過ごすことで感じた。

学校の本分である授業や訓練においては、教官の厳しい指導の中にも私たちのためにという優しさを感じた。私たちは人々を安心安全を守るための基礎を今学んでいる。厳しい指導は命の大切さや重みを表しているようにも思えた。この一ヶ月という短い期間でも、私は大切なことをたくさん学ぶことができた。

新しい自分、新しい仲間とともに、人々を守ることでできる消防士になるため、日々努力して基礎を築きたい。



佐々木 卓人
(鹿角広域行政
組合消防本部)

消防学校に入校して一ヶ月が経ち、たくさんのことを学ぶことができた。

まず初めに座学では、消防法や消防設備、消防組織制度など消防士として必要なことを学んでいる。消防法では、消防士が活動する業務が法律に基づいて行う行政作用であることを学んだ。消防用設備では、政令で定める消防用設備を設置し、それを維持しなければならないことを学んだ。座学で学んだことを忘れないよう復習することはもちろん、次の日の座学に向けて予習もしっかりとしていきたい。

次に訓練では、訓練礼式や小型ポンプ操法、三連梯子操法を行った。訓練礼式では、他の学生と和衷協同して団結をより強固なものにしていきたい。小型ポンプ操法では、消火活動の基礎になるので、分からないところは教官に質問したり、予習復習をしっかりしていきたい。

消防学校での生活はまだ始まったばかりだが、一日一日を大切に、一人前の消防士になるための基礎をしっかりと学んでいきたい。

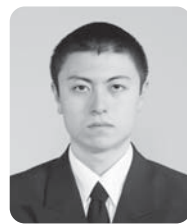


成田 瑠菜
(能代山本広域市町
村組合消防本部)

この一ヶ月を振り返ると、入校した当時は顔を合わせるのも初めて、一週間同じ空間、環境で過ごすのも初めてなど、色々なことが初めてで、学生の大半が緊張しており、表情もかたかったことが思い浮かびます。

私はこの一ヶ月で二つのことが特に印象に残りました。一つ目は、二期の学生全員にそれぞれ個性があり、同じ目標に向かっていくこともあるのか、気が合い、常々良い同期、そして良い仲間を持ったと思います。これから更に厳しくなってくると思うので、向上心を持ちながら努めていきたいです。二つ目は、座学、訓練が走馬燈のように行われたことです。連休明けには消防法の効果測定があつたり、新しい訓練が入ってきたりと、しっかりと予習復習に努めなければ大きく差が出てしまいます。

これからの長い消防人生を見据えると、この初任教育での基礎的な土台形成ができるか否かは、今後いろいろなことを左右すると思うので、努力することに執着して頑張っていきます。



山形 知尋
(大曲仙北広域市町
村組合消防本部)

消防学校に入校してから最初の一ヶ月は全てが初めての体験で、毎日勉強の日々でした。入校時、各消防本部から入校してきた人達が皆真剣な顔つきでいたので、更に身が引き締まる思いになりました。五分前行動や点呼、布団のたたみ方など、普段していないことばかりだったので、最初の一週間はその生活に慣れることで精一杯でした。

授業は、消防法や消防法施行令などの法に関してのことや、用語のほとんどが初めて聞くものだったり、覚えることで精一杯でしたが、消防業務を行う上で必要不可欠な知識なので、予習、復習も手を抜かず、勉学に励みたいと思います。

訓練では、少しでも遅れたら、少しでも動作を誤っていたら、傷病者そして自分自身に危険が及ぶということ、常に頭において活動することを心掛けていきます。

集団生活は、自分勝手に行動してはいけないという制約があります。困ったことがあれば、全員で助け合うこともできます。市民に信頼されるような消防士になるため、残り約五ヶ月間頑張っていきます。



古谷 優樹
(湯沢雄勝広域市町
村圏組合消防本部)

消防学校に入校して最初の四月が
終わり、一ヶ月が経ちました。初め
て見るものや触れるもの、学ぶもの
ばかりで、今までにない新鮮な一ヶ
月となりました。正直なところ、自
分が入校以前に想像していた消防学
校よりも規律が厳しく、教官の方々の
指導も今までの学校生活では考え
られないほど厳しいと感じました。

実務研修の際に、所属の先輩がお
っしゃっていた言葉なのですが、
「事務仕事の間違いはどうにかなる
けど、現場での間違いは許されな
い。」という言葉が印象に残ってい
ます。そんな環境に私たちを送り出
す教官の方々の立場を想像してみ
ると、厳しい指導になることも理解で
きます。失敗が許されない現場にこ
れから行く私たちにとって、消防の
プロである教官の方々から厳しくも
確かな指導を受けることができるこ
の半年間は幸せな期間であり、全力
でたくさんのことを学んでいかなけ
ればならないと思います。
一ヶ月は長いようであつという間
に過ぎてしまいました。半年間もあ
つという間だと思うので、一日一日
を大事に過ごしていきたいです。

初任教育訓練の様子



平成30年度秋田県消防操法大会支部大会日程

支 部 名	開催月日	開 催 場 所
鹿 角	7. 1(日)	鹿角市役所駐車場
大館北秋田	7.29(日)	上小阿仁村 村民グラウンド
能代市山本郡	7.29(日)	能代港下浜岸壁埠頭
男鹿潟上南秋	7.29(日)	五城目町消防本部敷地裏
秋 田 市	7. 8(日)	秋田市消防訓練場(秋田市御所野)
由利本荘にかほ	7.28(土)	にかほ市消防本部庁舎前
大仙仙北美郷	7.14(土)	大曲の花火公園
横 手 市	7.29(日)	雄物川河川公園(横手市雄物川町)
湯沢市雄勝郡	7.29(日)	湯沢市松ノ木グラウンド



モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

『大館市消防と秋田犬』

今回は大館市消防本部より戊午だけに、「ワンだふる」な話題を提供します。

◆去る一月七日(日)に行われた、消防出初式の分列行進において、戊年にちなみ、秋田犬の「あこ」と「飛鳥」が特別参加しました。



飼い主は県外から大館市に移住してきた地域おこし協力隊の女性お二方。普段は大館駅前にある「秋田犬ふれあい処」を訪れば会えますよ。

消防団員からは、戊年にこだわらず、来年以降も秋田犬に出勤してもらいたいと要望が出るほどの人気ぶりでした。

着ぐるみのハッチ君・ハチコちゃんも負けてはいられないと観客にこれまでになく愛嬌を振りまいていました。



◆五月三日、秋田犬展覧会本部展が開催されました。

今話題の女子フィギュアスケート選手「ザギトワ」さん(15)に贈られる秋田犬の幼犬「MASARU」(メス)のお披露目も行われるという(こと)で、あいにくの天候にもかかわらず、会場には例年の倍以上の来場者が国内外から大館市に押し寄せました。

日本国旗とロシア国旗に使用されている旗棒と三脚は、実は大館市消防本部が秋田犬保存会にレンタルしたもののなのです。意外なところで日露友好に貢献できたと自負しております。

来年四月には大館駅前に「ハチ公の駅(仮)」がオープンします。ぜひともお越しください。

最後に、大館市消防は、今後も郷

土を愛し、秋田犬とともに歩み続け、消防団員確保に全力で邁進し、地域住民の安心・安全を守ります。



左がザギトワ選手へ贈られた〔MASARU〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成30年		平成29年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	12	73	17	85	166	- 5	-12
林 野	1	15	9	17	19	- 8	- 2
車 輛	5	18	5	15	30	0	3
その他	8	32	16	36	51	- 8	- 4
合 計	26	138	47	153	266	-21	-15
死者数	2	10	2	10	24	0	0
負傷者数	1	14	8	35	77	- 7	-21

(情報提供) 大館北秋田支部

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp